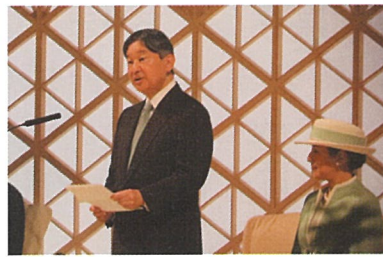


新見市森林組合情報

2024.8



令和6年5月26日（日）岡山県での開催は57年ぶりとなる第74回全国植樹祭が、天皇皇后両陛下をお迎えしジップアリーナ岡山にて開催され、本組合からも役職員、関係者が参加しました。

式典では「晴れの国 光で育つ緑の心」を大会テーマに、記念植樹やアトラクションが繰り広げられ、これからは森林資源の公益的機能の確保・循環利用や保護の重要性を改めて確認しあう一日となりました。

ご 挨拶

新見市森林組合は、平成16年10月1日、新見市と阿哲郡内の5組合が、「組織や経営基盤の強化を図るため」を目的に合併し、今年で20周年を迎えました。

今日に至るまでには、様々な経緯を乗り越え、ただ今、組合使命に則りました運営が出来ております。

組合運営で、重要な事は、組織の時代に合った「改革と前進(進化)」をしていくことであり、職員共々これに務めており、その効果は年々目に見える形で出来つつあります。

何よりも、職員には常に「使命感・責任感・スピード感」を持って業務に当たることを伝えております。

述べるまでもなく、組合の業務は、今後とも林業の定義を忠実に、そして、基本とする森林整備に務め、「植えて・育てて・伐る」の、林業サイクルに則り一貫した施業を行い、皆様の負託に応えるよう務めて参りたいと思っております。

近年、市中におきましては、いたるところの山々で植林地の皆伐が進み、再造林されないままの放置林が多く見られております。このまま進みますと、50年後の本市の森林資源はどの様になるのか心配をしているところであります。

山は適度に手入れ(除伐・間伐・枝打)さえすれば、何も文句は言わず立派に成長してくれます。急いで成長段階にある若木を皆伐をする必要はないと思います。

手入れの行き届いた山林は、我々に無限の恵みを与えてくれます。どうか皆様におかれましては、森林経営は長期に渡るものであることをもう一度ご認識を頂き、本市の山林を豊かな「森林」にする為に今ここで、真剣にお考え頂きますよう御願ひするものであります。

なお、令和に入りましてからも5年度まで「事業成績及び損益の状況」はお陰を持ちまして順調に推移しております。

この事から、5年度の剰余金から、皆様の出資金に対する配当を「20周年記念」として4%とする事に致しました。

今年度も皆様の負託に応え、積極的に各種森林整備事業に取り組んで参ります。

新見市森林組合は、皆様からのご期待に添える持続可能な森林経営が出来る「山づくり」に努めて参りたいと考えておりますので、一層のご理解ご支援を頂きたいと存じます。

令和6年8月吉日

新見市森林組合
代表理事組合長 竹本俊郎



総代会終了報告

令和6年度の通常総代会（以下「総代会」という。）を総代数198名中166名（内委任状5名、書面議決者40名）の出席を得て、戎新見市長様をはじめご来賓のご臨席を賜り、6月28日午前10時00分より新見市神郷下神代やまびこ広場神郷 しゃくなげホールにおいて、議長に大佐地区の太村和秀氏を選任の後開会し、次に挙げる第1号議案から第7号議案までを原案通り可決し無事閉会致しました。

また、今年10月で森林組合合併20周年記念でもあることから令和5年度剰余金処分案では出資配当金は、記念配当として4%を上程し、決議されました。よって、令和4年度総代会で決議されたとおり、前期からの預かり配当金と合わせ、1,000円単位で増資とし、1,000円に満たない部分は預り配当金として預からせていただきます。増資となった組合員様には明細書と新しい出資証券を同封しておりますので、金額をお確かめのうえ旧の出資証券は破棄をお願いします。1,000円に満たなかった組合員様には明細書のみを同封させていただいておりますのでご了承下さい。なお、増資分となった額の返金を希望される方は本年10月末までに本組合へご連絡下さい。出資減口申込書及び持分払戻請求書の書類をお送り致します。その書類提出によって今年度末で減資処理をし、来年の6月末の総代会終了後に振込をさせていただきますのでよろしく願いいたします。

提出議案

- 第1号議案 令和5年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書および剰余金処分案承認について
- 第2号議案 令和6年度事業計画承認について
- 第3号議案 借入金の最高限度額の決定について
- 第4号議案 貸付金の最高限度額の決定について
- 第5号議案 余裕金の預入れ金融機関の決定について
- 第6号議案 理事及び監事報酬額の決定について
- 第7号議案 規約の一部改正について

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	内 訳	小 計	合 計	科 目	内 訳	小 計	合 計
【資産の部】				【負債の部】			
流動資産				流動負債			
1. 現 金		71,264		1. 買 掛 金			
2. 預 金		932,206,523		2. 未 払 金		5,943,718	
3. 売 掛 金	231,168			2. 未 払 金	57,283,195		
販 売 掛 金	231,168			事 業 未 払 金	14,046,634	71,329,829	
購 買 掛 金	4,758,084			3. 未 払 消 費 税		6,096,700	
貸 倒 引 当 金	△ 29,936	4,959,316		4. 未 払 法 人 税		9,066,500	
4. 棚 卸 資 産				5. 賞 与 引 当 金		14,610,632	
購 買 品 (事 業 物 資)	1,134,546			6. 前 受 金		848,076	
購 買 品 (生 活 物 資)	586,682	1,721,228		7. 預 り 金		4,989,476	
5. 前 払 費 用 *1		221,590		8. 預 り 配 当 金		1,113,904	
6. 未 収 金	77,502,319			9. 受 託 販 売 預 り 金		88,554,379	
事 業 未 収 金	77,502,319						
貸 倒 引 当 金	△ 481,508	77,020,811		流 動 負 債 合 計			202,553,214
7. 林 産 勘 定 *2		11,030,000		固定負債			
8. 一 般 仮 払 金		1,155,363		1. 退 職 給 付 引 当 金		112,165,881	
9. 立 替 金				2. 施 設 整 理 引 当 金		4,553,419	
林 産 立 替 金	29,123,417			3. 未 利 用 材 活 用 引 当 金		35,500,000	
一 般 立 替 金	3,162,521	32,285,938		4. 役 員 退 任 慰 労 金 引 当 金		5,521,667	
流 動 資 産 合 計			1,060,672,033	そ の 他			
固定資産				1. 農 林 漁 業 資 金 借 入 金		2,749,221	
有形固定資産				2. リ ー ス 債 務 *4		644,220	
1. 建 物		2,674,659		固 定 負 債 合 計			161,134,408
2. 構 築 物		219,689		負 債 合 計			363,687,622
3. 機 械 装 置		17,424,122		【純資産の部】			
4. 車 両 運 搬 具 品		5,342,065		組合員資本			
5. 工 器 具 備 品		1,889,550		1. 出 資 金		134,765,000	
6. リ ー ス 資 産 *3		972,361		2. 利 益 剰 余 金			
7. 土 地		70,403,431		法 定 準 備 金	186,913,838		
8. 森 林 林 分 有 形 固 定 資 産 合 計	931,720	3,442,861		そ の 他 利 益 剰 余 金	495,892,579		
	2,511,141	102,368,738		任 意 積 立 金			
無形固定資産				当 期 未 処 分 剰 余 金			
1. ソ フ ト ウ ェ ア		320,834		当 期 剰 余 金	33,124,325		
無形固定資産合計		320,834		前 期 繰 越 剰 余 金	22,864,612	738,795,354	
外部出資その他の資産				3. 資 本 準 備 金		572,850	
外部出資				組 合 員 資 本 合 計			874,133,204
1. 系 統 出 資 金		71,318,000		純 資 産 合 計			874,133,204
2. 系 統 外 出 資 金		392,000		負 債 ・ 純 資 産 合 計			1,237,820,826
長期貸付金							
1. 農 林 漁 業 資 金 貸 付 金		2,749,221					
外部出資その他の資産合計		74,459,221					
固定資産合計			177,148,793				
資 産 合 計			1,237,820,826				

(注) *1 自動車リサイクル料等
 *2 立木買取分 (木材相場の動向を見ながら作業・搬出)
 *3・4 ｲﾝﾌｧｲﾝﾀﾞｲﾈｰｼﾞ 工 業 ﾏﾞﾗｸﾞ U-5D
 (ﾘｰｽ期間：令和元年9月1日～令和6年8月31日)

損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	小 計	合 計	一 般 事 業				
			計	指 導	販 売	加 工	森 林 整 備
I 事業総損益							
事業総収益	554,089,797	554,089,797	0	146,069,069	23,686,473	384,334,255	
事業総費用	357,712,786	357,712,786	773,717	94,759,652	18,723,813	243,455,604	
事業総利益		196,377,011	△ 773,717	51,309,417	4,962,660	140,878,651	
II 事業損益							
人件費	126,636,805	126,636,805	13,971,726	23,492,685	527,370	88,645,024	
旅費交通費	2,802,618	2,802,618	274,392	552,331	8,231	1,967,664	
事務費	3,302,311	3,302,311	230,812	1,124,342	2,860	1,944,297	
業務費	2,292,831	2,292,831	222,974	486,783	6,620	1,576,454	
諸税負担金	3,761,931	3,761,931	250,615	1,178,386	28,537	2,304,393	
施設費	32,875,060	32,875,060	3,017,354	7,681,005	2,506,139	19,670,562	
雑費	1,372,383	1,372,383	134,853	290,318	4,045	943,167	
事業管理費計		173,043,939	18,102,726	34,805,850	3,083,802	117,051,561	
事業利益		23,333,072	△ 18,876,443	16,503,567	1,878,858	23,827,090	
III 経常損益							
事業外収益	4,810,888	4,810,888					
事業外費用	25,967	25,967					
事業外利益		4,784,921					
経常利益		28,117,993					
IV 特別損益							
特別利益	41,257,631	41,257,631					
特別損失	27,184,799	27,184,799					
特別損益		14,072,832					
税引前当期利益		42,190,825					
法人税、住民税及び事業税		9,066,500					
当期剰余金		33,124,325					
前期繰越剰余金		22,864,612					
当期未処分剰余金		55,988,937					

令和5年度 剰余金処分案

科 目	積算内訳	小 計	合 計
I 当期未処分剰余金			55,988,937
II 剰余金処分額			
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1以上	6,630,000	
2 任意積立金		20,000,000	
3 出資配当金		5,412,240	
III 次期繰越剰余金			23,946,697